

お客様ニーズに応じた商品をグローバルに提供



お客様ニーズに応じた商品をグローバルに提供

世界中のあらゆる地域で暮らしと産業を支えるバスやトラック。さまざまな技術を結集した世界品質のHINOブランドは日本だけでなく世界中を疾走しています。

高品質の車両を提供することで地域社会・経済に貢献する

日野自動車は、2007年度に海外向け販売台数が過去最高の63,000台を記録し、国内向け販売台数を初めて上回るとともに、2008年3月には日野ブランド車の海外向け生産・販売累計数が100万台を突破するなど「世界のHINO」として新たなステージに立ちました。

世界最大市場である北米では、日本の自動車メーカーとしては初めて北米で全需要の9割を占めるボンネットタイプの専用トラックの開発に踏み切り、現地生産体制の構築、販売ネットワークの拡大に向けて動き始めました。

参入当初は、アメリカでの日野自動車の知名度は低くほとんど知られていませんでした。しかし、「燃費の良さ」「耐久性」「高い安全性」といった日野車の品質のよさが浸透し、2004年の現地生産開始からわずか3年後の2007年には累計20,000台もの日野自動車の北米専用トラックをご購入していただくことができました。

急成長を遂げる新興国では、鉱山開発や道路の建設などが盛んにおこなわれるため、高い輸送能力、高い耐



北米専用車「NAPS」

久性や信頼性を備えた商用車の需要が急速に高まっています。日野自動車では、各地域に現地法人を設立し、新興国の需要に応えるとともに、雇用の創出や現地の技術向上にも寄与することで、新興国の発展に貢献することを目指して事業展開を進めています。

現地での生産体制を確立することで高い生産性と高品質に支えられ、タイやインドネシアではもちろん東南アジアの国々にしっかりと根をおろし、アジア・オセアニアではトップシェアを争っています。

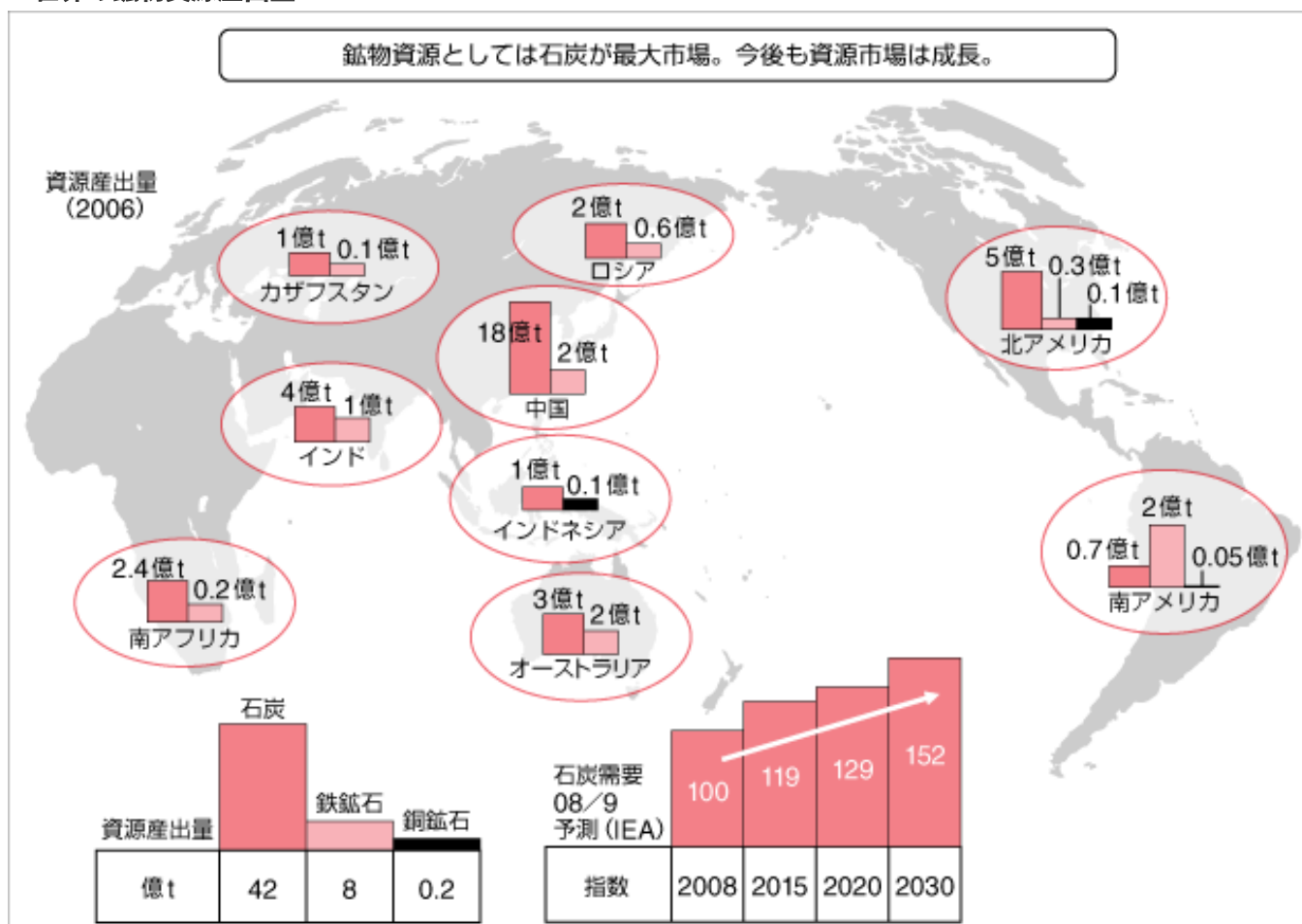
日野自動車は、現状に立ち止まることなく「世界のHINO」を目指し、世界中のお客様の期待に応えるため、高品質のトラックやバスを提供するとともに、地域社会や地域経済の発展に貢献しています。

資源開発への貢献を目指して

中国、インドネシア、インドなど新興国の経済成長は目覚ましいものがありますが、その原動力は石炭や鉄鉱石など人々が生活するうえで欠かせない資源を保有していることにあります。中でも発電に用いられる石炭は42億トンもの産出量を記録し、その運搬はトラックによりおこなわれています。

日野自動車は、世界各地で石炭をはじめとした鉱山開発で使用するダンプ車など、商用車の提供をおこなってきましたが、世界各国のニーズに、モノづくりで世界にさらに貢献したいという強い想いを実現するべく、アジア最大の石炭輸出国であるインドネシアと世界第3位の石炭産出国であるインドでの取り組みを強化しています。

■世界の鉱物資源産出量2006



インドネシアは、世界でも有数の資源大国であり、東アジアの石炭輸出市場の主力となっています。また、インドネシアの石炭産業は発電需要増により今後も拡大することが予想されています。

インドネシアの鉱山開発では、汎用トラックから鉱物開発用トラックへの移行が進んでいます。そのお客様ニーズに応えるため、日野自動車は「高積載」に加え、「高品質」「高耐久性」「低燃費」という当社が長年培ってきた技術を結集した鉱山開発用トラックの提供とお客様の懐に深く入り込んだサービスの実現を目指しています。その結果、インドネシアでは08年度に2,560台の鉱山開発用トラックを販売し、インドネシアでの存在感を高めています。



一方、日野自動車は、インドにおける経済発展に貢献するべく、2008年8月に「Hino Motors Sales India Private Ltd.」を設立し、2009年月中旬より販売を開始しています。

インドは、インドネシアとともに世界を代表する資源大国であり、石炭をはじめとした資源開発ラッシュでトラック需要も大幅に拡大しています。資源開発におけるトラック市場では、インドネシアと同様に、高積載な車両と着実なサービスが求められるため、ショベルなどの重機の販売や車両メンテナンス等のアフターサービスを取り扱った経験が豊富なディーラーとともに、将来のビジョンを共有し、お客様の現場に入り込んで、お客様の現場に適した車両とサービスプログラムの提供に取り組んでいます。



鉱山開発で利用される車両は、一度故障すると採掘そのものがストップし、お客様に多大なご迷惑をお掛けしてしまいます。また、地域毎に求められる車両の仕様も異なってきます。このようなニーズを満たした魅力的な車両とサービスを提供するためには、現地のニーズを吸い上げる「市場調査力」、それを形にする「商品企画力」、そして商品化を実現する「商品開発力」が必要です。日野自動車は、これらを併わせ持つ商用車業界の中でも特出した企業を目指しています。

中国での本格稼働に向けて

世界的な金融危機により各国の経済成長が足踏みするなか、中国は内需拡大を中心に8%の経済成長を目指しています。日野グループでは、トラック・バスやエンジンの供給など、中国内に4つの現地法人で4種の事業を展開しています。2009年では広汽日野自動車の本格的な稼働を迎えています。

中国でも、他の国と同様に排ガス規制が年々厳しくなるとともに、低燃費車への税制優遇が実施され、低公害・低燃費のトラック・バスへの関心が高まっています。このような現地のニーズに対応すべく、日野自動車

では、2007年に生産・販売の合併会社「広汽日野自動車」を設立しました。

広汽日野自動車では、広州市従化 明珠工業園区に106万m²の広大な敷地に、溶接ラインや塗装ライン、組立ラインなど、最新鋭の設備を備えています。生産に関わる設備設置および試生産を2009年3月に終了し、各種審査を経て正式な認可を取得し、本格的な生産稼動を予定しています。

中国のトラック市場は、全体で年間約200万台の市場と予測され、その内50万台強を大型トラックが占めています。巨大な大型トラック市



場は、過去4年間で2倍～3倍に成長し、2009年は世界的な不況でわずかに落ち込むものの、中国経済の回復に合わせ、徐々に回復すると見込まれています。

大型トラック市場に対し、これまで培ってきた日野自動車の強みを最大限発揮できるよう耐久性や省燃費、安全性、乗り心地など、あらゆる面から日本、および中国で技術開発を進め、中国市場専用車の導入を予定しています。日野ブランドを証明する高品質・高耐久性を維持しつつ、お客様にお求めやすい価格を実現させることで、中国経済の発展に貢献したいという強い想いをもち、日々取り組んでいます。

また、車両の提供だけでなく、アフターサービスの整備にも重点的に取り組み、販売網とともにアフターサービス体制も完備させることで、末永く日野ブランド車をご愛顧いただけるよう努めていきたいと考えています。